

申32号2021年3月ダイヤ改正に関する申し入れ（その3） について3月4日に団体交渉を行う！！

団体交渉において確認したこと！

◆ポケット行路表の配布を求めたことに対して

⇒紙ベースで欲しい人は、指導員等言えば出すことを確認！

◆定期行路で実乗務のない線区及び構内入換の教育を求めたことに対して

⇒経験が浅い乗務員に対する教育の内容は検討することを確認！

◆運転士時刻表に「ドア開扉」等の表記を求めたことに対して

⇒今回は時刻表に表記することを確認！（内容は現場の判断）

◆一部周知されてない折返し列車のドア扱い担当者を明確にすることを求めたことに対して

⇒営業列車から営業列車に折返す列車（伊勢崎駅、桐生駅）は車掌がドア開扉することを確認！

◆改札行路の設定を求めたことに対して

⇒繁忙期等に余力がある場合はその都度、現場の判断で予備勤務の車掌に改札を指示することを確認！

◆同一列車の便乗人数が複数にならないように求めたことに対して

⇒定期行路は行路作成段階で密にならないよう配慮することを確認！

◆車掌の胴乱について変更を求めたことに対して

⇒変更の検討をしていることを確認！

◆GVE197系の業務を理由に担当者に慢性的な超勤が発生しないように求めたことに対して

⇒必要な対応は行っていく考えがあることを確認！

◆夜間保守間合い「新前橋～高崎間」の拡大を求め

⇒引き続き貨物会社と協議していく事を確認！

2021年3月ダイヤ改正の検証課題

- ◆運転士、車掌の混み運用の実施前に労使協議をするため、現場における動向を把握していく。
- ◆運転士における始発駅ドア扱いの検証を通じた問題点の改善をしていく。
- ◆車内改札の必要性を検証し、繁忙期における改札行路設定を求めていく。
- ◆特急列車における車掌の担当をタカ運、シマ運に分ける必要性を検証していく。
- ◆大宮駅乗務員詰所の拡充に向けて実態調査していく。
- ◆乗務行路（休憩、睡眠時間、長時間乗務、拘束時間など）の改善に向けて検証していく。